

鹿児島県がん診療連携拠点病院事業 平成 25 年度市民公開講

テーマ	「自分のがんになったとき・家族のがんになったとき」 ～住み慣れた地域で安心して医療を受けるために～
目的	①市民にがんに対する社会並びに地域のサポーター体制を知っていただく。 ②市民へのがんパスの広報とその普及。
企画の意図	鹿児島大学病院は、がん対策推進基本計画(平成 19 年 6 月策定)に基づき、がん診療連携拠点病院として部門別に役割を担っている。部門の一つに情報提供・相談支援部会があり、事業の一つであるがん診療連携パス(以下がんパス)を今年新たに改定した。内容は術後サーベイから緩和医療まで一貫したがんパスになっており、住み慣れた地域で治療が継続でき、安心して医療が受けられることを目指したパスとなっている。このがんパスの主旨を市民の方々にご理解していただき、円滑な医療が展開できることを目標に講演会を企画した。
開催日時	H25 年 12 月 22 日 (日) 13:30～16:30
場所	鹿児島県医師会館 中ホール1 (鹿児島市中央町 8-1・・・鹿児島中央駅近く)
参加者(対象)	一般市民(参加者:100 名程度)
プログラム	<p>12:30 受付開始</p> <p>13:30 開会の辞</p> <p>13:30～13:35 病院長挨拶</p> <p>13:35～13:55 ●講演 1:「気軽にできるがん相談」(20 分) がん相談支援センターの役割・活用について 鹿児島大学病院 がん相談担当:田畑 真由美氏 (座長:鹿児島大学臨床腫瘍学講座 鈴木伸介)</p> <p>13:55～14:15 ●講演 2:「がん医療に役立つ社会保障制度」(20 分) 独立行政法人 国立病院機構 南九州病院 地域医療連携室 医療社会事業専門員 久永佳弘氏 (座長:鹿児島大学地域医療連携センター副センター長 道園 久美子)</p> <p>14:15～15:25 休憩</p> <p>15:25～15:55 ●講演 3:「地域に根づく在宅医療を目指して」(30 分) 医療法人ナカノ会 理事長ナカノ在宅医療クリニック 院長:中野一司氏 (座長:鹿児島大学臨床腫瘍学講座教授 上野真一)</p> <p>15:55～16:20 ●講演 4:「がん診療連携パスの活用について」(25 分) 鹿児島大学臨床腫瘍学講座教授 上野真一氏 (座長:腫瘍センター長 有馬直道)</p> <p>16:20～16:30 閉会の辞</p>
主催	鹿児島大学病院
共催	NPO 法人「よりよい地域医療を応援する会」

後援会	鹿児島県、鹿児島県医師会、鹿児島市医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島市歯科医師会、鹿児島県看護協会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県社会福祉士会、鹿児島県理学療法士協会、鹿児島県作業療法士会 NHK 鹿児島放送局、MBC 南日本放送、KTS 鹿児島テレビ、KKB 鹿児島放送、KYT 鹿児島読売テレビ、南日本新聞社
-----	---